

県立藤代高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

<p>(1) 確かな学力の涵養</p> <p>(2) 一人一人に寄り添った進路指導の充実</p> <p>(3) 豊かな心及び道徳的実践力の育成</p>

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>現代社会の課題に気付き、確かな学力を基盤とした課題設定・思考を通して、自らの力でよりよい地域・社会をつくらうとする姿勢を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題や現象を多面的に捉える力を身に付けることができる。(知識及び技能) ・仮説を立てたり、検証方法を考えたり、結果を科学的に考察したりする力を身に付けることができる。(思考力, 判断力, 表現力等) ・課題の解決を通してよりよい社会をつくらうとする意識や態度を身に付けようとする。(学びに向かう力, 人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポートなどで評価 ・振り返りや自己・相互評価等で活動状況、取組の様子等で総合的に判断し評価 ・提出課題の内容・発表の様子などで評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による個別面談 ・学年での情報共有と教科や他学年との連携 ・養護教諭との連携、支援

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>地域の課題に気付き、その課題解決のためにグループで主体的に探究活動を行う。</p> <p>グローバルリーダーシッププログラムを通して、様々なスキルの向上を目指す。</p>	<p>市役所や青年会議所の方に来校して頂き、助言を受ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸問題について考察することができる。 ・地域の諸問題を自分の事として捉え、探究活動を通して得た情報や知識を整理することができる。 ・地域の諸問題を自分の事として捉え、協力して課題に取り組もうとできる。
2年	<p>生徒の興味・関心に沿って課題を設定し、その課題解決にグループで主体的に探究活動を行う。</p>	<p>大学の先生に3回ほど来校していただき、問いや調査方法・調査プラン、調査分析・考察などについて助言を受ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や現象を多面的に捉える力を身に付けることができる。 ・探究プロセスを通して、情報収集した結果を考察する力を身に付けることができる。 ・課題を自分の事として捉え、課題の解決を通して見識を深めようとする事ができる。
3年	<p>生徒自身の興味・関心と社会問題を照らし合わせ、自分の進路に応じた課題を設定し、探究活動を行う。</p>	<p>自ら選択した進路希望先に出向き、入学後に必要な力を育成するための具体的な問いや調査プラン、調査分析・考察などについて助言を受ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の在り方・生き方や進路について考察する学習を通して、進路選択に必要な能力や態度を養うことができる。 ・身に付けた知識を現実生活や今後の進路選択に応用し、豊かな社会を築くことに積極的に寄与し、協働することができる。